

新規事業採択時評価結果（平成20年度新規事業箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：下保 修

事業の概要

事業名	一般国道317号 別宮拡幅	事業区分	道路改築	事業主体	愛媛県
起終点	起点：愛媛県今治市別宮町 終点：愛媛県今治市別宮町	延長	0.4 km		
<p><b>事業概要</b></p> <p>一般国道317号は、愛媛県松山市から今治市を経て広島県尾道市に至る広域幹線道路であり、今治市から尾道市の間は、しまなみ海道が高規格幹線道路として整備されている。</p> <p>別宮拡幅は、今治市の中心部に位置し、周辺道路の4車線化が進む中、ボトルネックとなっている410m間を現道拡幅する事業である。</p> <p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>本箇所の周辺は、概ね4車線化が概成しているが、本工区が2車線でボトルネックとなっている。このため、渋滞が発生しており、渋滞損失時間は41,025人時/年kmでワースト1位、混雑度は1.67で県管理国道でワースト1位となっている。また、このため、事故が多発しており、死傷事故率についても365.4件/年億台kmと県管理国道でワースト1位となっている。本事業により、ボトルネックの解消を行い、円滑な交通を確保し、渋滞の解消を図るとともに、通行の安全を確保し、死傷事故の減少を図る。</p> <p>全体事業費：5.0億円      計画交通量：16,200台/日</p>					
<p><b>事業概要図</b></p>					

事業評価結果

費用対便益	B/C	3.5	総費用：5.1億円 （事業費：4.7億円 維持管理費：0.35億円）	総便益：18億円 （走行時間短縮便益：17億円 走行費用減少便益：0.14億円 交通事故減少便益：0.55億円）	基準年：平成19年
	<p><b>事業の影響</b></p> <p>自動車や歩行者への影響</p> <p>渋滞対策 ○ 【渋滞損失時間の改善】 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】 41,025人時/年km （県管理国道の平均9,435人時/年km 県管理国道ワースト6位）</p> <p>事故対策 ○ 【死傷事故率】365.4件/年・億台km （死傷事故率比（県内平均比6.4倍）） （事故率曲線における位置：15位/61位）</p> <p>歩行空間 - 注目すべき影響はない。</p> <p>社会全体への影響</p> <p>住民生活 ○ 今治市の中心部に位置し、市役所に隣接しており、沿線に学校や公園等、多数の公共施設が立地しており、公共施設連絡やアクセスが向上する。</p> <p>地域経済 ○ 広域幹線道路のボトルネック箇所を本事業により解消することで、渋滞の減少や、安全性が向上し、地域基幹産業の振興に資する。</p> <p>災害 ○ 1次緊急輸送道路の指定をうけており、本事業により、広幅員となることから、輸送のルート上の安全性が向上する。</p> <p>環境 ○ CO2排出削減量：102t/年、NO2排出削減量：0.42t/年、SPM排出削減量：0.23t/年、が削減される。</p> <p>地域社会 ○ 今治港、JR四国今治駅、西瀬戸自動車道（しまなみ街道）今治北ICへの連絡時間が短縮されるため、地域交通全体の利便性向上に繋がる。</p> <p>事業実施環境 ○ 電線類地中化5ヶ年計画に位置付けられており、電線共同溝事業を進めている。本事業と併せて施工することにより、景観の大幅な向上が見込める。</p>				

**関係する地方公共団体等の意見**  
事業区間の存する今治市から早期整備の要望がなされている。

**事業採択の前提条件**  
費用便益：便益が費用を上回っている。  
実施環境：円滑な事業執行の環境が整っている。

採択の理由

費用便益が3.5と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。ボトルネックの解消、渋滞対策や通行の安全を確保し、死傷事故の減少を図る等、事業の効果が高いと判断される。以上により、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。